

2026年度グローバル人材育成講演会

Q1

世界はいま、
どこに向かっているのか

Q2

誰も逃れられない気候変動

Q3

世界の未来を左右する
エネルギー

Q4

技術革新は
世界を救えるか

Q5

21世紀にも立ちはだかる
「国家の壁」

Q6

国家を超えた協力は可能か

Q7

世界を見る力を、どう身につけるか

Q8

未来は君たちにかかっている

2026 11/18 [水]

10:40-12:10 ※講演約 60 分。
その後質疑応答約 30 分

会場：講堂小ホール 定員：120 名（先着順）

【講師略歴】

国際教養大学と開志専門職大学の特任教授とともに、エス・オー・シー株式会社監査役(東京)、フェアコートキャピタル会長(ロンドン)、エリオンハウス戦略委員(シンガポール)を務めている。キャリアは、外務省がスタートで、その後、経済産業省に移籍し、主としてエネルギー分野にかかわり、パリの国際エネルギー機関(IEA)の石油市場と安全保障担当局長を歴任している。帰国後は、アジア太平洋エネルギー研究所(APERC) 所長、石油公団(JNOC) 筆頭理事を終えて教育に転じ、東京科学大学、NUCBビジネススクール、パリ大学ドフィヌ校で教鞭をとり、今に至っている。

長年にわたり国際的ネットワークと関わりを持っており、現在も世界経済フォーラム(WEF:ダボス会議) はじめ、世界科学者連盟(WFS)、ウィンザーエネルギーグループ(WEG)、パグウォッシュ会議などに積極的に参加している。2025年11月、パグウォッシュ会議 広島大会にも出席。夢は、人間の知恵で気候変動と核兵器の脅威をなくすこと。

グローバル人材とは、

自分で世界を見る努力をし、自分の頭で考え、
自分なりの一步を踏み出せる人で、
日本にいるか海外にいるかを問わず、
自分を世界の一部と位置づけられる人を指すと思います。



講師

国際教養大学 開志専門職大学
特任教授 増田 達夫 氏

変化の激しい世界の大きな流れを、
様々な切り口から俯瞰し、
その中で若い世代がいかなる役割を担えるか、
一緒に考えてみましょう。

ご参加はこちらから



お問い合わせ

国際センター（国際交流推進センター）

TEL:082-830-1784

Email: iepc@m.hiroshima-cu.ac.jp



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University